

令和3年度 大阪府立牧野高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時 令和3年12月17日(金) 13:30~15:00

場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室

出席者(敬称略)

協議会委員 松宮 新吾(会長)、有堀 正彦(副会長)

福原 哲晃、尾崎 順子、田中 博、正田 洋子

学校長 日笠 賢

事務局 田中 眞、石田 暁、大塚 正宣、中務 正和

## 1、会長挨拶

新型コロナウイルス感染症に対して様々な懸念材料はあるものの地域住民の皆さま、保護者、生徒、教職員の皆さまの協力によって感染症対策を万全にさせていただき、教育の質、系統的な実施実現を行われていることに、まずは敬意を表したい。本日は第2回学校運営協議会ということで、今年度の学校教育計画の進捗状況のご報告いただく。特に前回話題になった「部活動の加入率」についてのその後の状況や、授業アンケートの結果をお示しいただき、委員の皆さまにはご意見を頂戴したい。また、来年度の新入生から学習指導要領変更が本格的にスタートする。教務を中心とした牧野高校の準備の状況や新たな観点別評価のことなどのことをお聞かせ願えたらと考えている。

## 2、校長挨拶

本日はお集まりいただき、本当にありがとうございます。コロナの感染状況について、本校においては、夏休み明けから感染者が全くなり、今年度の学校休業は1学期の2日間だけで授業への影響がほとんど出ず、昨年と違い冬休みも通常通り取ることが出来、例年に近い運営が出来ている。昨年度は出来なかった入学式はきちんと出来たが、4月15日以降9月30日まで大阪府において、レッドステージ2から緊急事態宣言、蔓延防止措置が繰り返され、体育祭は中止せざるを得ず、文化祭は平日無観客を基本に3年生の保護者を自クラスの演劇時のみ観劇する形で行った。10月以降は万全に感染症対策を施しながら、修学旅行も無事に出来て、徐々に通常の活動に戻しており、理科の実験や家庭科の調理実習なども出来ている。そのことを踏まえながら学校経営計画の進捗状況ご報告をさせていただく。よろしく願いいたします。

## 3、学校の現状について・・・学校長より説明

学校経営計画の数値の多くが12月に実施予定の「学校教育自己診断」の結果であることから、定量的なものは限られたものしかご報告できない。定性的なところを中心にご報告させていただく。「授業が分かりやすい」という質問項目に対し、そのもの自体の数値は「学校教育自己診断」実施後になるが、別紙の「授業アンケート」を見ていただくと全体の数値が引き続き右肩上がりになっている。今年7月に実施した第1回の授業アンケートでは全体の数値が「3.37」であった。平成29年度の第2回の「3.13」から毎回上昇して行き令和2年度の2回目が「3.33」。これ以上向上するのは難しいと

考えていたが今回「3.37」という数値まで上がってきた。先生方が授業力向上委員会を中心に授業研究や授業改善に取り組んでいただいた中で、人事異動等がありながらも、この5年間数値が下がることなく上がっていることを嬉しく思う。これは生徒の生の声を数値化したものなので「学校教育自己診断」の数値も上がってくれるのではないかと期待している。年代別と教科別の数値も出ている。一人教科では教員の異動があると大きくブレることがあるので注意する必要がある。本校では経験年数の少ない教員の数値が高いという特徴があるが、概ねどの年代も数値が毎回毎回上がっている。

I C T機器の授業での使用も昨年度に一気に 93%まで上がったが、今年度転勤されてきた先生方は若い先生方が多く世代交代が一気に進んで来ているので、更に I C Tを利用される先生方が増えているように感じている。

新学習指導要領の準備は昨年に関心カリキュラムを作成し、今年度に教科書も採択し、令和4年度新入生から実施していく準備は整ってきている。新観点別評価についても、全ての教科で令和4年度新入生から対応する検討をし、準備してもらっている。

新型コロナウイルス感染症を受けて I C Tの活用については、前回の学校運営協議会でご紹介いただいた、枚方市立第三中学校が全クラスで実施中のオンライン授業を本校の教員5人で見学させていただいた。有難いことにそのマニュアルもいただいて学校休業時などにも対応できるよう準備しているところである。

1人1台端末（CHROME BOOK）が9月に配られた。それを使って授業したり、宿題が出たり、生徒同士で探究活動の情報共有をしたりしている。I C T・G I G Aスクールの準備が着々と進んでいる。通信環境が脆弱であったが、全ての教室、体育館や視聴覚教室にも Wifi が飛ぶようになり、環境が整ってきている。

人権教育の醸成については本校のHP「校長ブログ」にも掲載しているが、先日この5年間で初めて保護者と教員が合同で勉強会を実施した。P T A会長が、講師の手配や合同開催の準備等にご尽力いただき、実施できた。「生徒を伸ばすコツ」として保護者、教員がそれぞれできることや、L G B T、性教育、生徒の褒め方、しかり方などをお話いただき、充実した時間であった。

人権教育研修は、教職員と生徒の各学年が、それぞれ年に2回ずつ講演会や映画会、勉強会などを実施している。

部活動加入率は、直近の調査で1年生が「87.36%」となっており、前回の学校運営協議会まではコロナの影響から勧誘の時間がなく、低調であり、ご心配をおかけしたが、正常化しつつある今は、多くの生徒が入部してくれている。合わせて、すでに近畿大会に出場した水泳部の生徒やバドミントンでは2部で優勝した生徒がいるなど、入部率だけではなく実力も兼ね備えている生徒がいる。また、挨拶をする生徒が多く、学校に活気を与えてくれている。先日、校内で作業をされる業者の方から「気持ちよくお礼を言われてとても嬉しかった。爽やかな気持ちになった。」と匿名のお手紙を頂戴した。

進路に関する指導や講習の様子も「校長ブログ」に掲載している。

「総合的な探究の時間」に各学年が取り組んでいるが、1年生はCHROME BOOKを利用してそれぞれがテーマを選び、面白い探究活動をしている。正しい答えを求めるのではなく、考えるプロセスを大切にしている活動を行っている。昨日12月16日に、枚方市から

プレスリリースされた「牧高生、市長に緊急提言」では、2年生の活動が紹介された。12月23日に枚方市の職員の方々を本校にお招きして、中間発表を行い、2月9日には市長が本校に来られて直接、生徒のプレゼンに対してやり取りを行っていただく予定。昨年は、オンラインで牧野高校と枚方市長室をつないで、1年生が枚方市のPR動画を作成したものを市長に見ていただき、9本が採用されて今も枚方市のホームページに掲載していたり、2年生が「市長への提案」を枚方市長にプレゼンテーションして、その一つが実際に実現の準備を始めていたりしている。これも、「牧野高校型の探究活動」として定着させようとしているところである。

大学入学共通テストの志願者の割合を卒業予定者の75%以上という目標は、残念ながら74%となった。その中で国公立もめざせる5教科型を50%と考えていたが、今年度は29%であった。年明け1月には大学入学共通テストが行われ、2月に私立大学の一般入試、2月末からは国公立大学入試前期日程、3月には国公立大学入試後期日程と続く。3年生が希望の進路を実現できるように期待している。

本校の教員には、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導、すなわち「生徒の事情を聴きながら指導をする」ことを遅刻時の指導や様々な生徒指導の場面をお願いしている。学校教育自己診断のこれに関する数値が伸びてくれるよう期待している。

「働き方改革」においては、教員の時間外勤務時間の数値がとて多くなった。一つの原因として、時間管理のシステムの変更がある。今年度からは、昨年度までなかった校外活動での実績時間の入力が必要となった。ただ、その数値を抜いても若干増加している。昨年度は4月から6月まで学校閉鎖等で部活動が全く出来ない期間があったが、今年は制約があるものの部活動が活発に行われている。また、今年度は異動で若い先生が増えた関係もあり、ICTを活用する若い先生方の授業準備などの時間外が増えていることも原因のように思われる。時間外は増えているが、生徒にとって充実した授業が増えることは重要なことでもあり、バランスさせることが大切であると考えている。

#### 4、協議

- 委員・・・なかなか充実した活動をしておられる。感心する。
- 校長・・・コロナによる制約が多いものの、殆ど休校なく授業が途切れずに出来たことが良かった。元気な挨拶をする生徒が増えた。廊下を歩いていても、挨拶を良くされる。講師の先生方から「生徒が明るい。」と言われることが多い。
- 委員・・・本日も校門を通った途端にいっぱい挨拶された。非常に礼儀正しい。
- 委員・・・毎朝、出勤時に学校付近を通る。様々な学校の生徒を見るが、時々自転車に乗車しながらスマホを見ているのを目にする。牧野高校の制服の生徒はほぼ、そういう生徒を見ることがない。「ちゃんとしているな」と感じている。挨拶にしても、校風として受け継がれていることは良いこと。今後もそういう形で続いていってくれば良い。
- 委員・・・ICTのことについて聞きたい。コロナの影響で急速に状況の変化があり、整備され始めたところではあるが、例えばオンラインで40人の顔を映して授業等するのは通信速度的には問題ないのか。かなり厳しいと思うが。

- 校長・・・枚方市立第三中学校のICTによるオンライン授業を見学させていただいた。

三中は欠席生徒の顔を画面に見ながら授業している。枚方市は教職員と生徒の端末がLTE契約で、場所を選ばずネット環境が整う。枚方市がコストをかけて導入している。大阪府はWifi利用を前提としているので、全クラスの生徒と一斉に通信することは実施不可能。牧野高校に限らず、大阪府立の学校ではまだ難しいと思われる。家庭にWifi環境があったとしても学校側の環境が十分に整わないと制約がある。当初に比べると、随分と環境が整備されたものの、ご指摘の環境にはまだない。
- 会長・・・途中でWifiの接続が落ちたり、通信が切れたり色んなトラブルの中で進めている状態だと思う。大学では、今は顔認証制度を導入している。ログインも本人でないと出来ない。出席を取るのもAIで行っている。入館時も顔認証で入館させる予定であり、これは感染症対策面でも有効になる。

授業アンケートの数値「3.37」は非常に高い。満点が4ということを見ると、今後さらにこの数値を向上させるというより、何か別の指標を設ける必要がある。これ以上数値を上げるのは至難の業であろうと思う。一人教科は教員の入れ替りによって大きく左右されていると見受けられる。年代別の数値結果も興味深い。ベテランの先生方もこれを受けて奮起されると思う。
- 委員・・・授業アンケートというものを初めて聞くが。
- 校長・・・生徒が各先生方の授業を9項目について評価する。4点満点で全科目についてアンケートを行い、平均値を見ていただいている。
- 委員・・・来年4月から民法で定める成年年齢が18歳に引き下げられることに向けて、権利や義務の指導等については、高校在学中に行う必要が出てくる。私が、日本司法センター弁護士会「法テラス」の大阪地方事務所の所長をしている関係で、「18歳から青年に」という冊子を本日皆さんのご参考に持ってきた。大阪弁護士会の中で、法教育委員会から学校に出向いて、18歳成人に関わるお手伝いを提案している。その利用をお考えであれば、弁護士会にご相談をされてはどうか。
- 校長・・・実は先日、現3年生に向けて、来年4月から民法の成年年齢18歳に引き下げのお話を司法書士の方からしてもらっている。来年の「総合的な探究の時間」においては、新3年生もそのことに取り組む予定である。弁護士にお話をお願いできるのは有難い。新学習指導要領では、18歳成人に関して家庭科等で高校2年生までに終えるようになっている。教科の中でも取り入れるが、外部の先生の話の方が生徒に入る部分もあるので繋いでいただければ良いのではないかと。
- 会長・・・大学においても3～4月に行う新入生ガイダンスの中に成人年齢引き下げに関連した内容が入っている。特に、契約に関するクレジットカードや消費者金融に関する部分とジェンダーの問題を認知させる必要がある。新しい学習指導要領とうまくリンクさせることが出来れば良いのではないかと。
- 委員・・・最近、枚方市内で中学生の自転車が事故を起こして相手が亡くなっている。本日、来校時に狭い道幅の道路で、牧野高校生が背後からくる車両に気づき、

道を譲っている場面を見かけた。牧高生はすごいと感心した。先生方も指導してくださっているのだと感じた。

- 校長・・・牧野高校の生徒も自転車の事故が無い訳ではないが、昔に比べると、随分と苦情が減った。生活指導の教員の指導方法も変わってきており、カウンセリングマインドを持って生徒を指導するという目標が出来てきていると思う。
- 委員・・・新型コロナでオープンキャンパスに行けない3年生の子供たちに対し、学校が大学別説明会をしていただき、良い機会をもらった。総合的な探究の時間において、授業以外の「生きていく力」「自分から考えること」の時間が持てるということは良いことだと思う。枚方市長への提言は実現してもらえると良い経験になる。18歳の選挙権についても話を学校でもお願いしたい。
- 委員・・・市長への提言は良い活動である。1回で終わりではなく続けてやってもらえれば良いと思う。
- 校長・・・昨年度、今年度と2年連続で行っており、今後も「牧野高校版の探究活動」として継続的に行っていきたい。
- 委員・・・ぜひとも続けていただきたい。生徒の意識が変わってくると思う。
- 会長・・・探究の時間というのは、教科横断的という横の部分と学年の縦断的な部分が連携すれば非常に面白いものが出来ると感じる。
- 会長・・・部活動加入率も新型コロナで心配したが、1年生の数字を聞いて安心した。
- 校長・・・もともと部活動をしたという子どもたちが牧野に来ていると改めて感じている。
- 会長・・・クロムブック等のICTを活用していくことを脳科学的に分析していくと、瞬発的な力はつくが、定着させる力が疎かになるといわれている。スマホ等を使っている子供たちの脳を見てみると思考停止状態にされているそう。思考力が落ちてしまう心配がある。ICTをどのように教育的に思考ツールとして活用させるのか、各先生方の研修の中で見えてくれば良いと思う。
- 委員・・・私の事業所で働く牧野高校の卒業生から先日「もっと本を読みたい。表現力がないことに気づいた。どんな本が良いか。」と聞かれた。
- 会長・・・ICTに対抗して思考力をつけるには読書が一番良い方法と言われる。それも電子書籍ではなく紙の本が良い。紙を触りページをめくりながら読むのが良い。
- 校長・・・本校は本当に図書室が充実している。昨日、放課後に図書室に立ち寄ると、私に本の借り方を尋ねてくる生徒がいた。上靴の線の色で1年生と分かった。期末考査終了後直後に、初めて図書室で本を借りようとしている生徒がいた。放課後の図書室には他にも何人かの生徒が居て嬉しかった。本校の図書室はPTAの協力もあり、定期的に新たな本が購入出来て、本が充実している。図書室担当の先生も朝7時から図書室を開けて利用できるようにしてくれている。先ほどのお話を参考に生徒に紙の本で読書をするように話しをする。
- 委員・・・同じ学校を預かる身として牧野高校を参考にさせてもらおう。ICTの見学に9月に来ていただいたが、枚方市は全国的に見ても通信環境がトップクラス

の自治体である。校内で Wifi が整っているところはもちろんのこと、Wifi が飛ばない所では L T E 4 G が利用でき、どこでも通信可能である。本校でも「タブレットを使っていれば良い」といったタブレット使用ありきにならないように話しているところである。端末機はあくまでも学習ツールの一つ。今までやってきたものの一部を置き換えるだけで授業は昔から変わらないものと伝えている。教員も新しい道具が入ったことによって思わぬ方向に行かないようにすることについてはすごく難しい。幼少から I C T の利用に慣れている子供たちは、I C T を使って何かを作り出すのは上手である。プレゼンテーションも上手に出来る。そういう力は高校でも伸ばしてもらいたい。よろしくお願いします。

## 5、連絡

第3回の協議会は2月上旬で予定。詳細については、追って調整。

⇒ 了承

## 6、閉会

学校長よりお礼